

情報処理学会東北支部研究講演会（秋田大学）報告

○日時：2025 年 11 月 17 日（月）13 時～14 時 20 分

○主催：情報処理学会東北支部

○共催：秋田大学大学院理工学研究科，秋田大学情報データ科学部，
秋田大学大学院先進ヘルスケア工学院

○場所：秋田大学一般教育 2 号館 302

○講師：鈴木 巧氏

（NTT 東日本株式会社 ビジネス開発本部クラウド＆ネットワークビジネス部 兼務 特殊局，株式会社 NTT DX パートナー 技術顧問，合同会社 TAKUMINASUN 代表）

○演題：地域とともにつくるシン・オートコール
～AI 駆動開発でつくる思いと実装をつなぐ手法～

○概要：最新のクラウドと使い慣れた電話を組み合わせた「シン・オートコール」は，自動架電にとどまらず，結果の活用・他サービスとの連携等，地域と共に「進化」を目指している。例えば，有事の際の安否確認や平時のみまもり，特殊詐欺対策など幅広いユースケースに対応している。

本講演では，AI を活用しながら，思いをもった人間が実装までを行うことで“何が生まれるのか”について紹介がなされた。また，従来のビジネス発案や開発手法に限定されず，「こうやりたい」というヒトの思いに着目したサービス作りの手法や，地域と共につくることの意義，めざすところについても紹介があった。

以上のように，シン・オートコールに関する活用事例とともに，AI 駆動開発に関する展望や，人の思いをよりどころにするサービスの展開の可能性についても理解することができ，参加者にとって非常に有意義な講演であった。

○参加者：約130名

○報告者：景山陽一（秋田大学情報データ科学部）